

## ジョージ・パーコビッチ氏

カーネギー国際平和財団副理事長

# 「核軍縮に真剣に取り組むということ」

‘Taking Nuclear Disarmament Seriously’

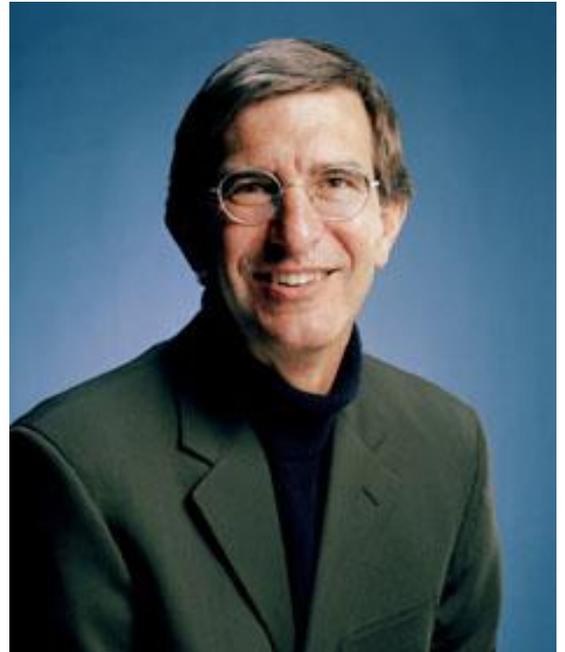
核拡散の場となっている東アジア。

進展の見られない核軍縮。

このような状況のもと、核軍縮に真剣に取り組むためにはなにを考え、なにをしなければならないのか。

早稲田大学 SGU グローバルアジア研究拠点は、このたび、核軍縮・核不拡散問題の専門家であるカーネギー国際平和財団副理事長のパーコビッチ氏をお招きし、日本、アジア、そして世界にとって重要なこの問題につき、下記の要領で特別講演会を開催いたします。

核問題に興味をお持ちの教員、大学院生、および学部生の皆様のご参加をお待ちしております。



ジョージ・パーコピッチ氏略歴  
(Dr. George Perkovich)

日時 11月29日(水) 13時から14時半

場所 大隈記念タワー多目的講義室  
(早稲田キャンパス 26号館  
地下104号室)

言語 英語(同時通訳なし)

参加費 無料

お問い合わせ先

「スーパーグローバル大学創成支援

グローバルアジア研究拠点」

[globalasia-office@list.waseda.jp](mailto:globalasia-office@list.waseda.jp)

1958年生まれ。ハーバード大学修士、バージニア大学 Ph.D.。現在、カーネギー国際平和財団の副理事長として、「技術と国際問題プログラム」「核政策プログラム」「南アジア・プログラム」の統括責任者。核戦略、核不拡散問題の専門家として著書多数。1989年から90年までは、バイデン上院議員(オバマ政権の副大統領)のスピーチライターを担当。

今年11月27日から28日まで広島で外務省主催の「核軍縮の実質的な進展のための賢人会議」に委員として出席。

主要著書

*India's Nuclear Bomb: The Impact on Global Proliferation* (University of California Press, 1999. Winner of 2000 Herbert Feis Award.)  
*Not War, Not Peace? : Motivating Pakistan to Prevent Cross-Border Terrorism* (OUP, 2016. Co-authored with Toby Dalton.)

Website

<http://carnegieendowment.org/experts/145>